



旭

農



母校百年に向けて



第八代同窓会 会長
福島 堅 (35 Ab)

旭農、永農同窓生の皆様には、平成二十六年の新春を、御家族お揃いで迎えられまし
た事をお喜び申し上げます。
昨年旭川農業高等学校は、
開校九十周年の、節目を迎え
ました。同窓生はもとより、
この記念する時に旭農校に在
籍した生徒にとっても、歴史

の大きさ、重さを実感された
と思います。旭農校の歴史は、
日本国、国際的にも激動の時
代でありました。しかしこの
厳しい戦乱の時代から復興と
それともなう耐乏生活の中
でも、日本人としての誇りと、
経済成長に対する熱意で、
現在のすばらしい伝統と栄光

に輝く母校が確立されたこと
とは同窓生にとつて、大きな
誇りであり先輩諸氏に感謝
の気持ちを表します。
又、戦後施行された教育基本
法により「人格の完成と国家
社会の形成者として必要な
資質を備えた、心身ともに健
康な国民の育成」を目的とし
て、義務教育、高等教育、大学
教育、社会教育、家庭教育の
充実と、国をあげての戦後教
育に努めてきました。
旭農校もこの教育理念に
基づきキャリア教育の先頭に
立つて北海道の拠点校として、
地域社会にとけ込み、校下の
皆様と保護者に理解と協力を
得られる教育を展開され、
その努力の結果日本の農業、
産業を支える名門校となり、
その役割の重大さ、多くの旭
農志願者の期待も大きなもの
があります。旭農校の教育
活動そして生徒達のクラブ活
動も、地域住民、あるいは北
海道民の大きな期待に応える
活動をして、その活動の輪
を全国に広げていることは、
道内、全国各地で活躍してい
る同窓生にとつて誇りであり、
又、後輩の社会での活動の指
導、応援をお願いするところ
です。

旭農の教育目標「誠実、勤
労、剛健」の校訓のもと、農、
食、環境を学び、地域産業に
貢献して、今後共この精神を
一層充実させ発展を期められ
る事を期待します。
同窓会としても卒業生の
母校に対する愛着と誇りを
もつて、将来とも援助、協力を
続けて行くことをお誓いする
ところでです。
旭川農業高校の発展と充
実を心より祈念申し上げます。

創立90周年を迎えるにあたって



第二十五代 校長
岡本 幹也

同窓生集いの会場に響きわ
たるブラスバンドの音色、
「いつ聞いても、とつてもいいな
あ、旭農の校長で幸せだ。」赴
任して2年を終えようとして
おりますが日頃から想う
事です。

さて、永農・旭農同窓生の
皆様には、母校の教育活動に
対しましてご支援ご協力賜
りまして心よりお礼申し上げ
ます。

本校は大正12年3月に設
立許可され爾来90年間1万
4千名ほどの卒業生を輩出
している伝統校であります。
同窓会活動につきましても大
変活発であり「総会」「同窓
会の集い」はじめ50を超える
支部活動など多くの同窓生
が集い母校への思いを語って
戴いております。本当にありが
たいことと職員一同心より感
謝いたしております。

農業科、林業科の2学科で
開校した本校も、時代の変遷
による学科改編により、現在
は、農業科学科、食品科学科、
森林科学科、生活科学科の4
学科体制で、1学年160名の募
集人員になっております。

近年本校への志願者数が多
くなつてきており、平成26年
度選抜では農業科学科14倍、
食品科学科12倍、森林科学
科11倍、生活科学科にいたっ
ては2.0倍と、総志願者数
225名となりました。70名
近くが残念な結果となり、折
角志願してもらったのに校長
としても心苦しく感じてお

ります。

食品科学科が従前の「園芸
科」に代つて設置された経緯
もございいます。地域からも園
芸技術者の養成が肝要との
要望も戴いております。この
ような状況下で園芸に関す
る学科の増設を視野にして、
各方面の協力を戴きながら
進めて参りたいと考えており
ます。

また、学校の様子では、特色
ある専門教育の充実及び地域
との連携強化を推進し、開か
れた農業教育の充実を目指
しております。鉢花や草花、
野菜、作物、米、農産・乳肉加
工製品、木工製品の販売会を
とおして、生徒達の教育活動
を発信しながら地域の方々か
ら好評を戴いております。
生徒が先生役をする、保育
園小学校などとの交流学習、
地域に出張つていく「ポランテ
ィア活動」。農業クラブ活動、
生徒会活動や部活動の充実
を図りながら一層の教育
活動の推進に努めておりま
す。

活動の支援になつて御座い
ます、同窓会からの「教育振
興基金」まことにありがとう
ございます。90周年記念誌制
作に使わせて戴きました
し、今年度から数年かけ部活
動充実のために各都顧問に
配当してまいります。
今後ともご支援ご協力の
ほどを心からお願ひ申し上げ
校長挨拶といたします。

旭川農業高等学校同窓会総会が 開催される



同窓会 幹事長
山 川 勝(38 Ab)

全国から支部長、代議員の参加のもとに1月25日旭川グランドホテルにて開催されました。
福島堅一会長から、先輩の築いた歴史が90年という歳

月を迎え、同窓会として今後も引き続き母校を支援していく決意が語られ、母校の多方面にわたる素晴らしい活躍を高く評価しており、後輩の活躍に期待するとともに

に、同窓会各支部活動を通しての母校への支援をお願いしたい挨拶がありました。

岡本幹也校長は、90年の節目に当たる旭川農業高校の校長として幸せである。国体に出場するクロカンの小足君、実績発表北大会では3部門が最優秀賞になり、全道大会に出場することになった。校内では90年を記念しバッチ・軍手の制作、校内縮図クリアファイルなど作成、学校内で育成したシクラメンの配布などを通し90周年の冠をつけた学校行事を開催したことが報告され、新年度の入学希望者が多く高い倍率になり学校が評価されていることはうれしいが複雑な気持ちである挨拶がありました。

総会議事では、議長に松原朗永山西支部長を選出、同窓会入会者が159名を迎えた事業報告、決算報告とともに承認、事業計画、予算案については、慎重に審議のうえ承認されました。なお、意見として支部総会に合わせ機関誌を早く送付してほしい要望があり、遅れることのないように努めること、平成27年の同窓生の集いの実行委員に、52年卒期とし実行委員に佐藤広人氏を含め委員長を選出していくことが確認されました。

議長退任後、全国の支部長代議員参加者の自己紹介と支部活動状況報告を兼ねて行われ、支部の活動状況に

については同総会も高齢化している状況が話されました。

平成26年永農・旭農同窓生の集いが233名の参加を得て開催、来賓に木村峰行道議会議副議長、伊藤比布町長、金屋東神楽農協組合長、舟山当麻農協組合長、小山東旭川農協組合長、柿林たいせつ農協組合長、高橋比布農協組合長を始め、同窓会顧問6名、恩師5名、旧師

3名、現職員2名、岡本母校校長の出席をいただき開催、実行委員長51期の齋藤敏明氏(A51卒)の挨拶は意義深く新たな一歩が感じられました。
吹奏楽部の演奏、母校の活動状況報告、共に歌った永農歌、旭農校歌の斉唱、参加者もお互いの絆を深め、学校時代の青春を思い出に友好を深める一日となりました。

旭農近況報告



教 頭
宮 本 匠

同窓会会員の方々には、日頃より母校の教育活動へのご支援、ご協力を賜り、様々な面からお力添えをいただいております。さて、この場をお借りして、心より感謝申し上げます。

さて、同窓会機関誌の発行にあたり、生徒の状況等を報告させていただきます。

部活動

○野球部・バレーボール部・バスケットボール部・ソフトテニス部・弓道部・陸上部・スキー部・サッカー部・バドミントン部・卓球部

○演劇部・美術部・吹奏楽部・家政部・写真部・書道部・自然科学部

外 局

○放送局・図書局・ボランティア局

※全国大会出場

◆スキー部

第63回全国高等学校スキー大会

(クロスカントリーの部 2A小足壮志・3A水野雄貴)
第26回全国高等学校選抜スキー大会

(クロスカントリーの部 2A小足壮志・3A水野雄貴)



◆第64回日本学校農業クラブ全国大会



◆第65回日本学校農業クラブ北海道連盟全道実績発表大会



◆旭農祭ウィンドウアート

学 科 名	1年生			2年生			3年生		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
農業科学科	18	23	41	24	15	39	25	16	41
食品科学科	5	36	41	5	36	41	4	36	40
森林科学科	33	8	41	29	9	38	32	9	41
生活科学科	0	41	41	0	40	40	0	39	39
合 計	56	108	164	58	100	158	61	100	161

全校生徒数
(平成26年2月7日現在)

第69回国民体育大会冬季大会スキー競技会
(クロスカントリースキーの部 2 A小足壮志)

農業クラブ
※全国大会出場(①農業情報処理競技会 千葉県千葉市/平成25年9月12日 ②本大会 埼玉県杉戸町・千葉県成田市、東京都渋谷区・品川区/平成25年10月23日、24日)
優秀賞・農業鑑定競技区分・農業 2F相澤俊貴
山田洋暉
区分・林業 1F佐々木大地 2F堀内千裕

	希望者数	決定者数	決定率
進学	70	69	98.6%
就職	90	85	94.4%
自営	1	1	100.0%
全 体	161	155	96.3%

進路動向
(平成26年2月7日現在)
道内高校生の12月末就職内定率は80.3%と前年比6.4ポイント上昇しました。本校も左図のとおり就職未決定者5名です。今後とも進路指導部を中心として、卒業まで全員の進路決定と、1・2年生には早期からの進路指導を心がけていきます。

市町村	生徒数	市町村	生徒数
旭川市	378	鷹栖町	8
東川町	18	美瑛町	5
東神楽町	8	比布町	9
上川町	1	和寒町	4
当麻町	39	その他	4
愛別町	9	合計	483

出身市町村別生徒数
(平成26年2月7日現在)
全校生徒は、483名(男子36%、女子64%)、出身市町村別に見てみると旭川市の生徒が非常に多く、全体の78%の割合になっています。



交流事業 循環農園「つながる輪のち」



畜産(豚の枝肉調査)



畑作機械(宇宙大豆プロジェクト)

農業科学科



あさがお販売会



旭川農業祭り(あったか旭川まん)



製造実習(カマンベールチーズ)

食品科学科



演習林実習(3年枝打ち)



校外実習(1年黒岳登山)



担い手支援講習

森林科学科



旭農レストラン



永山園との園芸福祉交流会



花フェスタ ガーデニングコンテスト

生活科学科



支部だより

末広支部長
浅田 精一氏
(33P)

末広支部は平成19年2月に設立して7年を経過しました。会員数も400余名の大きな支部となっており、回を増すごとに新しい仲間が増えて楽しんでいただいている様子からも、末広支部の設立は本場の「同窓の絆」としての実感であると思います。

活動に参加する方は年齢層も広く、50〜80歳代が多く、40歳代と90歳を超える大先輩は元気深刺として、身近な同窓の仲間が沢山居ることの心強さを感じております。

毎年、会員相互の親睦・交流を目指して、年3回の事業を行っております。平成25年は、2月に定期総会を開催し、来賓に同窓会長／福島堅一様、

小牧支部長
笠木 庄一氏
(27Fa)

本支部は昭和33年1月に設立発足して実に56年が経過し、支部長は私で4代目です。

支部活動は定期総会、会員名簿発行、懇親会（パークゴルフ会）開催を実施しています。

昨年の懇親会は10月25日に実施しましたが生憎の悪天候に見舞われ中止しました。しかし、折角集まった5名の有志で急遽懇談会に変更し支部活



旭農同窓会旭川末広支部総会

また、支部だよりを年2回発行して、各事業に参加された様子などを掲載して、会員の参加呼びかけと併せて案内しております。

性化について意義深い話し合いがなされましたので報告いたします。

支部運営がマンネリ化しているのは執行役員の人事停滞であることが判断し、人事一新を図ることが最善だと結論に達しました。そこで11月29日、役員会を開催し次年度支部定期総会において現状よりひと回り若い層へのバトンタッチ案を決議しました。

苦小牧支部の会員が現在53名と年々減少してゆくのが寂しい限りですが、より若い役員の斬新な発想の基に「永農健児ここにあり」と声高らかに歌えることを期待します。

東京支部長
鈴木 晟督氏(33Ab)

東京支部は東京を中心として北は青森より南は九州・沖縄まで約500余名の同窓生で構成されています。昭和43年頃、初回の支部会を本郷の東大近くの田中旅館（昭和初めの卒業生で開催した。その後、年々開催するにつれ100余名の参加者をおよそ旅館での対応が難しくなり場所をホテルに変更に至った。現在は約500余名の確認がされているが1000人以上の同窓生が居ると考えられる。通知するが移動が多く把握が難しい状況である。支部活動として年2回、春と秋にゴルフ同窓会でのミニケージョンを図っている。

場所は群馬、1泊2日程度で約15〜20名。とくに25年は梅雨の後連日猛暑が続く、地域によっては集中豪雨、あるいは水不足の心配もあつて東京近辺含め水の使用制限も数日続くなど生活に影響が及んだ年であった。同窓生の中には農業、林業の経験を生かして元々に関連の役所または企業で活動しているものもある。

今後とも支部の活動発展のため微力ながら尽くしたいと考えております。支部の集いは東京有楽町で毎年7〜8月開催しております。

永農・旭農同窓会 支部組織役員一覧										(平成26年3月1日現在)	
支部名	支部長名(卒期)	郵便番号	住	所	支部名	支部長名(卒期)	郵便番号	住	所		
旭川中央	安田 佳正(59F)	070-0023	旭川市東3条6丁目3-8		上富良野	西村 昭教(44Aa)	071-0522	空知郡上富良野町島津5番地			
旭川東北	大門 和忠(29H)	078-8238	旭川市豊岡8条5丁目6-33		上士名	野村 敏明(45Aa)	096-0017	名寄市西7条南10丁目			
旭川北	浅田 武司(34Ab)	070-0876	旭川市春光6条9丁目7-28		札内	伊林 好(44Ab)	004-0031	札幌市厚別区上野幌1条3丁目9-13			
旭川東	谷田 義一(27Aa)	079-8417	旭川市永山7条19丁目3-22		見川	高橋 義輝(50H)	068-0808	岩見沢市南町8条4丁目8番9号			
旭川西	松原 義一(48Ab)	079-8420	旭川市永山1条9丁目1-7		滝川	清造 富二夫(33Ab)	073-0023	滝川市緑町2丁目1番15号			
旭川旭	森定 一二(36Ab)	078-1272	旭川市東旭川農田565番地		深川・沼田	富田 修(45Aa)	074-0015	深川市深川町字メム5号線山1線			
旭川東	正谷 威裕(42Aa)	078-8340	旭川市東旭川共栄255番地		留萌	橋村 博(55Aa)	078-3457	留萌郡小平町字大根311番地			
旭川東	森栖 邦男(38Ab)	071-8104	旭川市東旭川4条2丁目636-218		北見	深谷 正信(30F)	090-0035	北見市北斗町3丁目7-11			
旭川東	浅田 精一(33P)	071-8134	旭川市末広4条3丁目5-7		網走	春田 淑郎(28Fa)	093-0042	網走市潮見9丁目7番4号			
旭川東	居上 隆利(35Ab)	070-8013	旭川市神居3条8丁目1-2		紋別	本田 勝樹(37H)	093-0731	紋別郡湧別町字芭露260番地			
旭川東	山本 義照(26Fc)	070-8007	旭川市神居9条9丁目2-5		帯広	酒井 未治(32F)	080-0021	帯広市西11条南24丁目3号			
旭川東	山本 哲夫(35P)	071-0181	旭川市西神居1線15号		苫小牧	笠木 庄一(27Fa)	053-0021	苫小牧市若草町5丁目12-304			
旭川東	橋本 祐一(24F)	070-8051	旭川市江丹別町嵐山54		浦河	柏崎 雅(25Ab新)	057-0034	浦河郡浦河町堤町西5丁目2-15			
旭川東	高橋 義久(38F)	078-1744	旭川市上川町北町34番地6号		天塩	渡谷 勝義(55F)	098-3541	天塩郡遠別町字北浜91-2			
旭川東	高井 優(46Ab)	078-1401	上川郡愛別町字愛別1324番地		枝幸	東雲 良三(22Fb)	098-5721	枝幸郡浜頓別町南1番1号			
旭川東	中道 眞佐義(46Ab)	098-0113	上川郡和寒町字菊野		苫小牧	柴田 雅紀(H1Aa)	078-3637	苫小牧市苫小牧町字九重			
旭川東	梶山 良一(38Aa)	078-1334	上川郡当麻町北星1-1区		釧路	奥山 房雄(34F)	084-0903	釧路市昭和町1丁目3-7			
旭川東	伊藤 喜代志(48Ab)	078-0321	上川郡比布町北1線4号		知床	山本 慎二(32Aa)	041-1111	亀田郡七飯町本町24番9号			
旭川東	山崎 親友(36Aa)	071-1223	上川郡鷹栖町北野東3条1丁目2-12		旭川	鈴木 晟督(33Ab)	359-0001	埼玉県所沢市下富1056-27			
旭川東	鬼塚 嘉幸(20Ab)	071-1437	上川郡東川町東7条7北29番地								
旭川東	堤 義彦(48Ab)	071-1547	上川郡東神楽町17号南7								
旭川東	照本 清光(36Aa)	071-0226	上川郡美瑛町下宇別第1								
旭川東	岸本 和彦(48H)	076-0046	富良野市北斗町								
旭川東	土橋 頼浩(H4F)	076-8555	富良野市弥生町1番1号(市役所 農林課)								
旭川東	安井 士八(43Ab)	071-0700	空知郡中富良野町東5線北15								

※職域支部廃止(平成22年総会決議)

平成27年 会員多数ご参加ください
永農・旭農同窓生の集い

開催日 平成27年1月31日(土)
時間 15:00~
場所 ロワジールホテル旭川
顧問 37・42・47(卒期)
委員長 52(卒期)
当番 57・62・H4・H9・H14・H19・H24(卒期)

永農・旭農同窓会本部役員・幹事

会長	福島 堅一(35Ab)	事務局長	荒井 泰史(63Aa)
副会長	三宅 愛子(35H)	事務局会計	佐藤 広人(52Ab)
副会長	長勢 孝志(40Aa)	事務局書記	伊藤 浩(63F)
副会長	上野 裕幸(41Ab)	事務局	伊藤 吉則(55H)
常任理事	高嶋 守(35F)	事務局	齊藤 浩義(58Aa)
常任理事	菅野 孝夫(44Aa)	事務局	野田 明(61F)
常任理事	千葉 かよ(50L)	事務局	千葉 美子(H18M)
監事	星 秀隆(47H)		
幹事長	山川 勝(38Ab)		

(事務局)旭川市永山町14丁目153 母校内 内(0166)48-2887・1320 内48-1360

編集後記

旭川農業高等学校同窓会機関誌「旭農」(永農通巻第50号)をお届け致します。編集に際し原稿の執筆、資料、写真等をご提供いただきました方々に深く感謝申し上げます。機関誌「旭農」は同窓生皆さんの「絆」であり「広場」でもあります。更に伝統ある旭農会の歩みを刻み、歴史の一頁にしたいと思ひます。同窓生各位のご健康とご多幸を母校よりお祈り申し上げます。逝去された会員の皆様のご冥福を心よりお祈り申し上げます。(文責 事務局出版)